

# 明倫の風

明倫小 校長室だより 第7号  
平成29年1月16日(月)発行  
校長 椿 義 憲



「一善」「一益」「一日の功」「一年の功」

新しい年である2017年(平成29年)が始まりました。



今年、酉年です。酉の由来は、「果実が極限まで熟した状態・酒熟して気の漏れる状態」と言われます。そこから、酉年は「物事が頂点まで極まった状態」と言われ、習い事などで結果が得られたり、学問などで成果が得られる年と考へてもよいかもしれません。当然のことながら「結果や成果を得る」には、努力が必要です。何もしないで、よい結果や成果を得ることはできません。

松陰先生は次のようにおっしゃっています。



「一善を行へば一善己れに存す。一益を得れば一益己れに存す。一日を加ふれば一日の功あり。一年を加ふれば一年の功あり」

一つのおこなをすれば、その善は自分のものとなる。一つの有益なものを得れば、それは自分のものとなる。一日の努力をすれば、一日の努力が報われる効果があり、一年の努力をすれば、一年の努力が報われる効果がある。つまり、努力すれば、その努力に応じた効果がある。努力は必ず報われる。

明倫小Cは、チャレンジです。「よし、今年○○を頑張るぞ」「○○ができるようになるぞ」など、新しい目標をもって、その目標を達成できるように努力を積み重ねていきましょう。毎日少しずつで構いません。努力は必ず報われます。